



▲水雲神社太々神楽保存会。5月3日の春祭りの朝、メンバーが集まり、記念撮影を行いました。

去る五月三日、成田の水雲神社では春祭りが開催され、太々神楽の舞いが奉納されました。久方ぶりに地元の人々が集い、賑わった祭りについて、今年四月に結成された「水雲神社太々神楽保存会」会長の三浦喜一さんにお話をうかがいました。

性別や地域、年齢に縛られない開かれた保存会を目指しています。興味のある方は大歓迎です！
水雲神社太々神楽保存会

かわら版

集落支援員だより



Q 保存会結成の経緯は？

成田の水雲神社では、「氏子若連会」という四十歳未満の会員によって毎年春祭りに太々神楽の奉納を行ってきたところ。ところがコロナ禍で四年間の休止期間があったことや、会員となる若い世代の減少等により、神楽の継承が危ぶまれる状況に陥ってしまいました。

そんな中で氏子若連会のOBから「この際、年齢制限を取り払ってやれる人だけでも続けていこう」という声が上ががり、「水雲神社太々神楽保存会」が結成されました。

現在の会員数は二十九名。六十代を中心に二十代、七十代の有志が集まっています。



▲出雲の流れを汲む成田の太々神楽。

Q 今年の祭りについて

四年ぶりの開催となった春祭りでは、午前十時半～午後四時半頃まで時間をかけて十二演目

▼神楽殿からお菓子を投げる「お菓子まき」が行われ、縁起物のお菓子をキャッチしようと参加しました。



興味のある人には一緒に参加してもらえたら嬉しいです。

また地域や性別に関わらず、積極的に参加したいです。

露したイベントで太々神楽を披露しました。今後は祭りの時期以外にも披露する機会があれば、

Q 今後の抱負等について

保存会結成の経緯が新聞で紹介されたことがきっかけで県から声がかかり、秋に郡山で開催されたイベントで太々神楽を披露しました。今後は祭りの時期以外にも披露する機会があれば、



▲「おじいちゃんの舞いを見て楽しい！」とお孫さんたち。

水雲神社の太々神楽の魅力&楽しみ方とは？

安達地方の太々神楽の古風な姿を残している水雲神社の太々神楽。その特徴や楽しみ方をうかがいました。

◆太々神楽の舞い

素面の採物舞と面をつける神能と合わせて26座ありますが、現在は継承されていないものもあり神秘に包まれています。それぞれにストーリーがありますので、詳しい知識がなくても楽しめると思います。

◆お囃子演奏

囃子方は大太鼓と小太鼓、鼓、笛（3～4人）で構成されます。それぞれの音色や全体のハーモニーを体感してください。

◆その他

掛け声を入れるなど、祭りを観る側の楽しみもあります。お菓子まきにも参加してください。

水雲神社太々神楽保存会
会長 三浦喜一さん



問い合わせは、下記まで
☎080-5558-6928(三浦)

「今年は短期間の練習にも関わらず会員の皆さんが心を一つにした結果、素晴らしい太々神楽を披露できました。今後も継続できるように取り組んで参ります」



▲大鍋で作られた芋煮は、味噌の香りがして美味でした。
▼皆さんお米農家で、年代も近いのでサロンではおしゃべりに時間を忘れるそうです。

サロン訪問記



集落支援員が各地のサロンを訪問。今回は「たんぽぽサロン」を訪れ、参加者の声を聞きました。

田沢字高井たんぽぽサロンへ芋煮会を楽しみました

今年四月にスタートした「たんぽぽサロン」は、高井自治会の女性六人の集まりです。春のお花見会や百歳体操、パークゴルフなど親睦や健康づくりを目指しています。十一月のサロンは芋煮会でした。大鍋に作られた芋煮以外にも漬物や甘露煮、五目おにぎり等を持ち寄り、秋の香りいっぱいでした。「コロナ禍で会えなかったのが顔を見られて嬉しい」「各家庭の味が試食できる」「貴重な情報交換の場」など皆さんの喜びの声と笑顔が印象的でした。



▲「我が家の味」の漬物やイチジクの甘露煮、おにぎりも。

♡ 岩代おじさん図鑑 実践編 ♡
「ふしぎな地図Ⅰ」を配布中。
♪ いざ征かん！ 冒険の世界へ ♪

◇ 岩代観光協会からのお知らせ
「岩代おじさん図鑑」の後継企画として「ふしぎな地図Ⅰ」が発行されました。岩代地域の賑わい創出を目的としたもので、三十四カ所のお店や会社、施設等を紹介した遊び心満載の内容です。皆さんへのお誘いです。
★「ふしぎな地図Ⅰ」を手に入れ、ルールを確認してください。
★地図内のお店で買物をして「おじさんステッカー」を手に入ってください。
★地域外からの来訪者＆地図巡回者に会ったら親切にしてください。

Q.地図の入手方法は？

➡東の店：道の駅さくらの郷
➡西の店：ショッピングセンターいわしろ
など34カ所のお店の店頭で、合言葉「ふしぎな地図をください」と言ってみてください(詳しくは岩代観光協会ホームページをご覧ください)。

Q.ステッカーの入手方法は？

➡お店で1,000円以上の買い物をして、合言葉「そのへんのおじさんステッカーください」と言ってみてください。

Q.問い合わせ先は？

➡岩代観光協会まで
☎0243-55-2111



▲11月に岩代支所で「ふしぎな地図Ⅰ」の発表会が行われ、テレビでも紹介！

岩代の歴史シリーズ

一枚の写真 その④

岩代小浜の歴史と文化を護る会

副会長 大内英克

会津宮森家へ手紙を書き、小浜城・宮森城址で行われていた「御先祖祭」の実施予定を尋ねた。ほとんど電話が鳴った。先方は会津三菱自動車社長(当時)宮森正弘氏と花春酒造社長(当時)宮森泰介氏だった。五年に一度の「御先祖祭」の年に震災が起これ、次回は平成二十八年になるが、今春数人で行きたいと話された。平成二十七年四月十六日岩代支所会議室へ宮森家の代表五名をお迎えし、宮森家の成り立ちや小浜と宮森家の関係、「ご先祖祭」の実施計画、今後の展望などを歓談した。

小浜城・宮森城の景観維持と小浜の発展をもに協力していくことが確認されたのである。宮森顕彰会との会談や昭和の頃に父が撮影した小浜城址の写真(※1)、祖父の愛読書「安達郡誌」(※2)、昭和五十五年小浜城測量調査書「岩代町の城館第一篇城館」(※3)を見るにつけ、大内定綱公を顕彰し、小浜城址の環境保全の必要性を新たに思った。

当時の景観を復活させて、この場所からの眺望を楽しみながら、郷土の歴史、その深みに思いを巡らせてほしい。特に、小学生に見てほしかった。



▲昭和50年頃、筆者の父が撮影した小浜城址の写真。岩代小浜の歴史と文化を護る会では、この頃の景観に戻るよう伐採整備を進めています。

※1 写真には、桑畑が整然とし、城郭がはっきりと表れていた(写真左)。

※2 明治四十三年天長佳節の日(明治天皇誕生日十一月三日)安達郡長 丸野實行の緒言で始まり、編集者に平島郡三郎氏ほか一名を委嘱とある。

小浜町の記載で人口六千三百五十一人、本宮町人口六千二百五十二人で約百人多かった。また、小浜八景の一つ「月山の秋月」の場所は、小浜城址跡に建つ二つ石稲荷神社。「明治二十八年四月松本龜太郎氏(小浜小学校用地提供者・小浜町町長)の首唱により藤町有志の経営、その位置市街地中央に在りて眺望に富めるを以て四時杖曳くもの多し。」との記述。

※3 「遺構確認調査の結果、従来の考えを遥かに超える大規模で広汎な範囲なもので、福島県下でも稀にみる築城土木技術が各所に駆使されていることが判明、出城南側の堀切が城郭域の中で最も保存が良好」と記されている。